

第6章

評価指標と目標値

1 評価指標一覧

基本目標	重点目標	評価指標	基準値 (H26)	実績値 (R1)	目標値 (R7)
I 多様性が尊重される社会を実現する 意識を醸成する	1 男女共同参画の促進に向けた意識の浸透	慣習・しきたりで、男女が平等になっていると思う人の割合	8.8%	9.9%	13%
		学校の中で、男女が平等になっていると思う人の割合	29.7%	26.3%	40%
	2 多様性の理解促進、人権の尊重	日々の生活の中で、身の回りの人権が大切にされていると思う人の割合	50.6%	52.6%	55%
		●性的マイノリティ※またはLGBT※という言葉の意味を知っている人の割合	—	67.9%	80%
		●地域社会の一員として生活できていると感じている外国人の割合	—	43%	50%
II 性別にかかわらず誰もがいきいきと活躍する社会を創る (女性活躍推進計画)	3 ワーク・ライフ・バランス※(仕事と生活の調和)の推進	自分や家庭の事情に合った働き方ができていると思っている人の割合	65.9%	73.2%	82%
		1日(平日)の平均の労働時間が10時間以上の男性の割合	19.9%	16.0%	12%
		これまで育児休業を取得したことがある人の割合(就学前児童の父親)	5.2%	7.9%	20%
		これまで育児休業を取得したことがある人の割合(就学前児童の母親)	77.4%	79.3%	91%
		●市の男性職員の育児休業取得率(一般行政職)	—	7.1%	20%
		「ワーク・ライフ・バランス」について、言葉、内容ともに知っていて、既に取り組んでいる(又は取り組む予定の)事業所の割合	2.9%	5.1%	11%
		●男女共同参画推進事業所の認定件数(累計)	—	25社	70社



基本目標	重点目標	評価指標	基準値 (H26)	実績値 (R1)	目標値 (R7)
	3 ワーク・ライフ・バランス※(仕事と生活の調和)の推進	保育所等の待機児童数	28人	143人	0人
		家族に対して必要な介護サービスが受けられていると思っている人の割合	81.0%	78.5% (H30)	83%
		●働き方改革啓発推進セミナーの参加者数	—	36人	100人
	4 働く場における男女共同参画の促進	ポジティブ・アクション※に取り組んでいる事業所の割合	28.6%	32.7%	39%
		働いている職場が、子育てに対する理解があると思っている人の割合	53.5%	66.1%	70%
		セクシュアル・ハラスメント※を受けたことがある女性の割合	13.9%	14.4%	10%
		がんばる中小企業応援事業費補助金女性起業家ネットワーク支援補助事業採択件数	—	2件	10件 (R3~R7累計)
		●創業サポートセンターを活用した創業者のうち女性が占める割合	—	23.8%	30%
		●全消防吏員数に対する女性消防吏員数の割合	—	2.0%	5%
	5 家庭、地域社会における男女共同参画の促進	家庭の中で、男女が平等になっていると思う人の割合	42.8%	41.8%	50%
		地域の中で、男女が平等になっていると思う人の割合	17.6%	21.2%	25%
		「男は仕事、女は家庭」という考え方に同感しない人の割合	42.7%	51.6%	63%
		家庭教育学級参加者数	13,429人	6,026人	10,000人
		●人権学習推進事業参加者数	25,159人	51,489人	65,000人
		子育てを家族で協力して行っている人の割合(就学前児童の保護者)	84.3%	86.1%	92%
		子育てを家族で協力して行っている人の割合(小学生の保護者)	84.3%	86.1%	92%

●…第四次くらしきハーモニープランより新たに追加した指標

第6章

評価指標と目標値



基本目標	重点目標	評価指標	基準値 (H26)	実績値 (R1)	目標値 (R7)
	6 政策・方針決定過程への女性の参画促進	市の審議会等の女性委員比率（地方自治法第202条の3に基づく審議会等のうち広域除く）	29.6%	30.4%	40%
		女性委員のいない審議会等の数（地方自治法第202条の3に基づく審議会等のうち広域除く）	9件	4件	3件
		市職員の女性管理職比率（課長級相当職以上）	—	8.7%	13%
		男女共同参画人材バンク登録者数（累計）	101人	140人	240人
Ⅲ 安心して暮らせる生活環境を創る	7 生涯にわたる女性をはじめとした健康支援	乳がん検診受診率（市検診対象者に対する率）	22.6%	20.0% (H30)	30%
		子宮頸がん検診受診率（市検診対象者に対する率）	20.8%	17.1% (H30)	30%
		●男性料理教室の開催回数	—	56回	65回
	8 困難を抱える人々への包括的な支援体制の構築	地域やコミュニティの中で困っているときに相談できる人がいると思っている人の割合	45.2%	48.4%	55%
		●倉敷市生活自立相談支援センターの新規相談受付件数	—	1,917件	2,000件
		●ふれあいサロン※の実施箇所数	—	275箇所	320箇所
		●中学生等への学習支援における利用決定者数の累計	—	105人	560人
		●中学生等への学習支援における高校進学者数の累計	—	36人	210人
	9 防災・復興対策における男女共同参画の促進	●防災士育成講座受講者数女性の累計の割合	18.7%	18.5%	20%
		●防災士合格者の女性の累計	—	63人	80人
		●自主防災組織等への出前講座・講演会・研修の開催回数	—	109回	110回



基本目標	重点目標	評価指標	基準値 (H26)	実績値 (R1)	目標値 (R7)
IV あらゆる暴力を防止する 社会を創る (DV※防止計画)	10 あらゆる暴力の根絶	「DVを受けたことがある」と答えた人(女性)の割合	8.9%	6.4%	4%
		●DVに関する相談窓口を知っている市民の割合	—	—	60%
	11 被害者の早期発見・早期対応と自立支援	DV被害者で、相談したことがある人のうち、公の相談窓口へ相談したと答えた人	32.1%	23.5%	40%

第6章

評価指標と目標値



●…第四次くらしきハーモニープランより新たに追加した指標